



補正予算

一般会計 補正額 7億1,493万円
(債務負担行為28億7,632万円)

特別会計 補正額 1億8,416万円

企業会計 補正額 8,200万円

※債務負担行為とは・・・

単年度では事業が終了しない場合に、複数年の支出が予定されているものに対する債務(支出)を確定させること。

一般会計補正

①スタジアム整備事業(債務負担行為9億900万円)

資材・労務単価の変動に伴う建設物価の上昇に対応するため、債務負担行為を変更

②戸畑D街区スポーツ施設整備事業(債務負担行為1億6,460万円)

資材・労務単価の変動に伴う建設物価の上昇に対応するため、債務負担行為を変更

③黒崎駅南北自由通路整備事業(債務負担行為17億5,000万円)

JR黒崎駅南北の連携強化のための新たな自由通路整備に要する経費について債務負担行為を設定

特別会計補正

①父子福祉資金貸付金(補正額1,340万円)

「母子及び寡婦福祉法」の改正により、新たに父子世帯に対する福祉資金貸付制度が創設されるため、その貸付に要する経費を計上

企業会計補正

①病院事業会(補正額8,200万円)

市立八幡病院の移転・建て替えに係る基本設計に要する経費を計上

4・5・6月活動記録

- 7日 党県連WEB会議
- 9日 市政調査 聞き取り
- 14日 党政令市政協協議会
- 16日 環境建設委員会
まち美化推進委員任命式
- 17日 小都市議会議員選挙応援
- 18日 神崎市議会議員選挙応援
- 19日 党福岡9区総支部常任幹事会
党福岡県連青年委員会
ファシリテーター講習会
- 4月 20日 的場池弓道場30周年記念弓道大会
家庭倫理の会講演会
- 21日 党県連青年委員会
- 23日 緒方林太郎勉強会
衆議院文部科学委員会地方公聴会
- 24日 公団リノベーションの視察(京都)
- 25日 福岡県産業廃棄物協会懇親会
- 26日 ガラヴァンツ北九州
vsモンテディオ山形戦 観戦
北筑高校野球部講演会総会

- 1日 北九州市障害者スポーツセンター
アレアス 視察
- 5日 党福岡県連青年委員会第1回政治塾
- 6日 党福岡県連青年委員会第2回政治塾
- 9日 市議会会派 団会議
- 10日 北筑高校野球部試合観戦
- 11日 民主党大学(東京)
- 12日 全国地方議員フォーラム
- 13日 東京都葛飾区教育委員会視察
- 14日 環境建設委員会
さつき観賞会
大分市観光トイレ視察
- 5月 15日 大分市商工労政課 聞き取り
- 18日 陣原ふれあい祭り
- 20日 党福岡県連青年委員会
- 21~23日 環境建設委員会行政視察
千葉~静岡~栃木
- 23日 岩元一儀県議会議員県政報告会
- 24日 南九州市 知覧特攻平和会館視察
- 28日 環境建設委員会
- 29日 環境審議会
- 31日 撥川ほたる祭り

- 2日 環境省官房長挨拶
- 3日 会派団会議
- 4日 大平台グラウンドゴルフ大会
- 6日 小倉北区中津口 ゴミステーション視察
- 7日 スポーツ鬼ごっこ研修
ドットJP「政治にLINK」
- 8日 グリーン北九州まち美化推進
キャンペーン
区政40周年記念事業
「黒崎宿街並フォーラム」
- 6月 9日 小倉南区企救丘小学校視察
- 11日 6月議会開会
- 12日 6月議会にて一般質問
- 13日 体調不良のため病院
- 15日 党福岡県連青年委員会 第3回
- 18日 6月議会閉会
- 19日 MOZU試写会手伝い
野依市議会議員通夜
- 22日 市民茶会(小倉城庭園)
参議院議員 大島九州男 国政報告会
- 24日 緒方りんたろう朝食勉強会
- 25日 全国若手市議会議員の会九州ブロック
総会&視察(熊本県上天草)

6月12日 一般質問を行いました

1. コムシティについて

Q 平成24年、コムシティに区役所や生涯学習センターなど、多くの公共機関や施設が移設されました。本年4月には私も議会の中で度々誘致を行うよう進言してきたゴールド免許センターが開設され、予定されていた全ての施設がオープンしました。

施設の移転と集約でかなりの効率化が図られ、利用者のメリットにもつながったと考えられます。どのような効果もたらされたのかを質問しました。

一方コムシティ全体の話として、駐車場を利用する際に、区役所を利用すれば1時間無料で利用できますが、その他の施設を利用してもこうした割引サービスを受けることができないという現状があります。同じ建物の同じ市が運営するそれぞれの施設で、サービスが異なることに分かりにくさがあり、それぞれ事情があるとは思いますが、この分かりにくい状況を改善するべきではないでしょうか。

A 市民からは「八幡西区役所や国保年金課、市税事務所などの窓口が1つになり楽になった」、「区役所とハローワークが近くになり、スムーズに就職支援が受けられた」などの声が寄せられ、当初200万人を見込んでいた利用者もこれを大きく上回る320万人もの市民が訪れるようになりました。

駐車場に関しては各施設への利用者の訪問目的の違い、市内の同種の施設とのバランスなどから一律の扱いは難しいと考えていますが、提案の趣旨をコムシティ管理組合や国の機関などにしっかりと伝え、分かりやすい説明を心がけてまいります。

<執行部からの回答を受けて>

コムシティ駐車場の利用状況を踏まえ、この質問をきっかけに再度、駐車料金のあり方について検討を求めました。

コムシティへの行政施設の集中・集積で発揮された効率化のメリットを明らかにし、これから検討されているアセットマネジメントなどへ活かすよう提言致しました。

2. トイレを活用した地域活性化について

Q 衛生陶器で国内シェアの6割を占めるTOTO。その創業の地である北九州市は、いわばトイレの街ともいえます。トイレは誰でも毎日利用する生活に欠かせない場所です。私たちの生活と密接に関係しているこのトイレを、TOTO創業の地で

ある地の利を活かして、市外から訪れた方々にPRすることや、地域経済の活性化・賑わいづくりに活用できないでしょうか。

A 本市では平成26年2月から「街かどショールーム事業」を展開し、そのなかでトイレをメインテーマとすることも検討してまいりたいと考えます。本市で生まれ、世界的な企業となったトイレメーカーと手を携えた取り組みを進め、先進的な技術力のアピール、にぎわいの創出などにつなげていきたいと考えております。

<執行部からの回答を受けて>

小倉駅北口に建設予定のスタジアムには市外から多数のお客様さんが想定されています。こうした方々に気持ちよく帰ってもらうための一つの施設として「本市がさすがトイレの街である」という快適なトイレのあり方を検討するよう求めました。

3. 小中学生の体力づくりとコミュニケーション力の向上について

Q 運動習慣のない子どもたちや、痩せすぎ太りすぎ。スポーツのし過ぎなどによる損傷や後遺症などで後年重い関節症や骨粗しょう症などになり、最終的に介護を受けなければならない状態になる「ロコモティブシンドローム」が最近問題視されています。

適度な運動をする事がこれらを防ぐためには大事だとされており、本市でもキッズダンスなどを取り入れ、体力の向上を図っています。

また体力と学力の相関関係についても論じられており、注目されているところです。

こうした中、鬼ごっこにスポーツの要素を取り入れた「スポーツ鬼ごっこ」を通じて体力向上を図ろうとする動きが始まっています。鬼ごっこは、逃げる、追いかける、止まる、かわす、方向転換など、様々なスポーツの基本的な動きが盛り込まれており、プロのスポーツチームでもウォーミングアップなどに取り入れています。このスポーツ鬼ごっこを本市小学校の体育で取り入れてはどうでしょうか。

A 「スポーツ鬼ごっこ」は基礎体力やコミュニケーション能力の向上、運動が苦手な子どもへのスポーツの場の提供、そこからの思考力や想像力の鍛錬、といったことが挙げられています。小学校学習指導要領には、同様のねらいで「鬼遊び」という「スポーツ鬼ごっこ」と類似の遊びも示されています。ご提案の「スポーツ鬼ごっこ」についても、その活用について各学校へ紹介してまいりたいと思います。



<執行部からの回答を受けて>

1300年前に始まったとされる日本の鬼ごっこは、親が子供を守る、つまり「強いものが弱いものを守る」という概念を遊びを通じて子ども達に教えるものだといわれています。その思想

を絶やさず伝えていかなければならないと教育長に伝え、教育の中に取り入れてもらうよう再度要望しました。

4. 人口減少社会について

Q 私が前回質問をした平成24年9月時点の本市の人口96万8233人に対し、今回の質問時点での本市の人口は96万4700人と約3500人減少していました。

また全同月比で見ると、本市の人口は4421人の減少となっています。

人口の増減は、街に何人移住してきて、何人転出したかという差し引き「社会増・減」というものと、何人産まれて、何人亡くなったのかの差し引き「自然増・減」といった2つの種類があります。

本市の人口は経済状態が好転したとしても、人口増の要因となる若年者数の減少から、2030年には約87万2000人、2040年には79万6800人と、加速度的に減少することが統計上明らかになっています。見えている未来に対してどのような対処するのか、今を生きる私たちの責任であると考えています。

これについて、前回明確な答弁をされなかった市長に対して、再度質問を行いました。

A 日本創生会議の提言で、「『不都合な真実』を正確かつ冷静に認識すること、根拠なき『楽観論』で対応するのは危険である。さらに「もはや打つ手がない」というような『悲観論』に立っても益にならない、さらに「対策は早ければ早いほど効果がある」「基本は『若者や女性が活躍できる社会』を作ることである。」など全く同感であります。

20代の若者が関東や関西、福岡方面に流出する傾向に対して、多様な雇用機会の創出をはじめ、成長戦略を打ち出して官民一体となって取り組んでいるところです。今年度はU・Iターン者フォローアップ調査や都心のにぎわいづくりのための施設、イベントの連携などの可能性の調査、定住人口や交流人口の増加に必要な調査を行うことにしています。

誰もが北九州市に「住んでみたい、住み続けたい」と思える魅力あるまちを実現することが人口減少対策に最も有効であり、行政も心して頑張らなければならないと思っています。

<執行部からの回答を受けて>

雇用が劇的に増加することがあれば、本市の人口増加は見

込めるかもしれません。しかし、現実的にこれまでの状況を踏まえると、雇用の増加以上のスピードで自然減が進む事が現実視されています。いわゆる「不都合な真実」に向き合っているだけで、そのうえで覚悟をもった対策をとっていただきたい、と意見致しました。

5. 社会参加が困難な若者への支援について

Q 門司港でトロッコ列車と“ゆるキャラ”とのかけっこ競争が行われています。これらの“ゆるキャラ”を被り、ふれあいなど通じて社会へ再び一歩を踏み出すという訓練があります。NPO団体と、本市の子ども若者応援センター「YELL」との協働事業で、これまで“ひきこもり”とされてきた若者たちを再び社会へと送り出す訓練を行っているのです。“ゆるキャラ”の中に入る事を、「ゆるキャラの魂になる」というのですが、彼らはこの魂になるための訓練を行う事によって、今まで学ぶことのできなかつた苦労や経験を少しずつ積み重ね、誰かの為に働く喜びや意義を身に付けていきます。

この事業については現在、福岡県からの支援を受けていますが、こうしたいわゆる就業支援の前の2次的サポートを行う団体やグループに対して、より幅広い支援のメニューを市が作っていくべきだと、提案しました。

A 「ゆるキャラプロジェクト」を通じて、人の役に立つ喜びを感じ、笑顔が増え、他者との関わりに積極的になった若者も多く、対人関係を苦手とする若者には社会参加の機会を緩やかにつくる有効な仕組みであります。こうした事業を通じて、5名の若者が就職するといった成果があります。今後も「YELL」のさらなるプログラムの充実を図ることが重要だと考えます。

<執行部からの回答を受けて>

ゆるキャラのプロジェクトは着実に成果を上げていることが明らかになっています。この事業をモデルとして、社会参加が困難な若者たちが再び社会参加のきっかけを掴めるよう、NPOや支援団体が活動しやすい環境づくりを議会から提言しつづけていきます。



■北九州市の将来推計人口表

※参考：封鎖人口を仮定した男女・年齢(5歳)階級別の推計結果<男女計>

年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0～14歳	126650	120266	111514	101669	92934	87692	83728
15～64歳	603733	560085	531017	512571	493504	466733	430864
65歳以上	246463	280800	294773	292307	285643	280814	282208
75歳以上	120570	138878	156102	178343	183548	176442	168070
総数	976846	961151	937304	906547	872081	835239	796800
年齢別割合	(0～14歳：%)	13.0	12.5	11.9	11.2	10.7	10.5
	(15～64歳：%)	61.8	58.3	56.7	56.5	56.6	54.1
	(65歳以上：%)	25.2	29.2	31.4	32.2	32.8	35.4





No.22 イメージと事実の巻

北九州市は本当に犯罪が多いのか！？

私たちの住む北九州市は、本当に犯罪の多いまちなのか？6月議会の一般質問の中で本市の犯罪件数について取り上げたのですが、データを見ていく中で私たちのまちの現状が明らかになってきました。

福岡県警察が公開している県内の犯罪件数と、各政令指定都市のデータから見えてきたものを検証したいと思います。

なお、この検証は公表されているデータに基づく事実の検証であり、他都市と比較することで他都市を貶めるものではありません。さらに暴力団犯罪やその他の犯罪撲滅活動については今後も徹底してその手を緩めてはならないことについては聊かも変わりはありません。

県内の犯罪発生件数(地域別・件)	
1	福岡市博多区 4,762
2	福岡市東区 4,645
3	福岡市中央区 4,391
4	久留米市 3,774
5	北九州市小倉北区 3,382
6	福岡市南区 3,150
7	北九州市八幡西区 2,950
8	北九州市小倉南区 2,870
9	福岡市早良区 2,465
10	福岡市西区 2,231

最初に、北九州市の犯罪発生件数は平成25年度、市内7区の合計で12,372件。比較対象として、同じ政令指定都市である福岡市の犯罪発生件数は23,399件。本市人口の1.5倍ある福岡市で、本市の約2倍の犯罪が発生しているという事については特筆すべきものがあると思います。

福岡県内の犯罪発生件数の上位から見てみると、1位福岡市博多区、2位福岡市東区...と続き、本市では5位にはじめて小倉北区が登場します。

こうしたデータを見ながら「いや、人口で見たときの犯罪の発生率は、福岡市は人口が多いから件数も多いのではないかな？ほんとには北九州市も高いのではないかな？」という疑問を抱く方もいらっしゃるのではないかと思います。そこで、刑法犯の合計件数と、犯罪発生率も調べてみました。

順位	市名	刑法犯合計
1	大阪	63,213
2	名古屋	39,350
3	横浜	30,323
4	福岡	23,399
5	京都	21,326
6	堺	20,507
7	神戸	20,071
8	札幌	19,423
9	さいたま	14,643
10	千葉	14,255
11	北九州	12,372
12	川崎	11,287
13	広島	10,472
14	仙台	10,231
15	岡山	9,471

犯罪発生率は、人口100人に対して年間どのくらいの犯罪が発生しているのかを数値で表したものです。これを政令指定都市の中で、北九州市が何位なのかを調べてみたところ、本市の犯罪発生率は1.278でした。ちなみに平成25年の政令市で犯罪発生率が高い都市は堺市2.438で、次いで大阪市の2.438件、福岡市は4位で1.550という値になりました。平成25年度の犯罪発生件数では本市は政令市の中で11番目となり、犯罪発生率の政令市比較では、本市は9番目になります。

つまり「犯罪が多いまち」というイメージがつかまとう本市ですが、実際のデータを調べてみると決して犯罪の発生が他の政令市より際立って多いというわけではないということがお分かりいただけるかと思います。イメージが先行してしまい、実態とかけ離れてしまっていることに気づかされます。

確かに、県内で犯罪発生件数のベスト10圏内に3区も入ってしまうということについては、本市として深刻に受け止め、さらなる対策を講じていかねばなりません。同時に、こうしたデータをしっかりと分析し、本市は犯罪が多いという誤った認識を市外の方々に抱かれないように発信しなければならないと考えます。

確かに、県内で犯罪発生件数のベスト10圏内に3区も入ってしまうということについては、本市として深刻に受け止め、さらなる対策を講じていかねばなりません。同時に、こうしたデータをしっかりと分析し、本市は犯罪が多いという誤った認識を市外の方々に抱かれないように発信しなければならないと考えます。



応援団活動支援のお願い

皆様へ

大久保むが応援団では、大久保むがの活動支援のため、応援会費(個人寄付)のご協力をお願い致しております。ご協力を賜れる方は、下記お振込口座まで、お手続きくごさされれば幸いです。今後とも、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

活動支援会費(個人寄付) 会費: 1口 1,000円~

■ゆうちょ銀行

口座番号: 17410-83659011

口座名義: 大久保むが応援団

■福岡ひびき信用金庫 折尾支店

口座番号: 1202105

口座名義: 大久保むが応援団

※政治資金規正法により政治家個人は企業・団体からカンパ(寄付)を受けることができません。ご協力頂ける場合は「個人としての寄付」をお願いします。

※1年間1万円をこえる金額につきましては所定の手続きにより、確定申告の際に所得控除を受ける事ができます。

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー 2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属、民主党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's work」理事。平成26年2月、防災士資格を取得。



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531
http://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net